1月8日

スポーツの振興・発展に寄与

スポーツ推進委員功労者表彰

スポーツ推進委員功労者の文部科学大臣表彰伝達式が役場で行われ、町スポーツ推進委員の坂本勝雄会長に棚野孝夫町長より表彰状が手渡されました。

昭和52年からスポーツ推進委員として47年間活動し、平成19年からは会長を務めています。

坂本会長は「推進委員の先輩や家族の支えのおかげ。今後もスポーツの振興に努める」と話していました。

表彰状を手に受賞を喜ぶ坂本会長（左）と棚野町長

1月6日

白糠町の発展願う

白糠町新年交礼会

白糠町の新年交礼会が社会福祉センターで開かれ、町議会や行政、教育関係者、産業団体などから約90人が出席し、新しい年に向け決意を新たにしました。

棚野孝夫町長は「将来に向けて、子育て支援と教育の徹底した取り組み。また、農林水産業を一歩前へ進め、そのチャレンジが見える化できる１年にしたい」とあいさつしました。

商工会の髙橋隆助会長の発声で乾杯する出席者

1月12日

防災意識の向上と１年の安全を願う

白糠消防団･白糠支署新年出初式

白糠消防団と白糠支署の「新年出初式」が白糠消防庁舎で行われ、団員や消防職員、来賓など約100人が参加し、防災意識の向上と１年の安全を願いました。

団員による整然とした行進から始まった式では、人員報告、服装点検などが行われ、団員は新年の決意を新たにしました。その後、消防庁舎内で長年にわたり消防活動に従事した団員の表彰式が行われました。

士気高揚を図った団員による分列行進

1月11日～

一つ一つの作品に思いを込めて

アイヌ文様刺しゅう展

アイヌ伝統工芸作品の技術が認められ、文化庁長官表彰を受賞した町出身の作家「間宮喜代子氏」のアイヌ文様刺しゅう展がウレシパチセで開かれています。

刺しゅう展では、繊細な刺しゅうが施されたタペストリーや着物など、約100点の作品が展示されています。来場者は「美しい色使いや細かな刺しゅうが素晴らしくて感動しました」と話していました。

アイヌ文様刺しゅう展は２月16日まで開催

1．トイレットペーパーを巻いて雪だるまを作るゲームで盛り上がる。トイレットペーパーは回収して持ち帰りました。
2．完成したタコスにお好みのトッピングをする子どもたち。

1月14日

ＡＬＴとの交流を深め英語に親しむ

白糠町ＥＣレク

町内の外国語指導助手（以下「ＡＬＴ」という。）４人と楽しく英語を学ぶ「白糠町ＥＣレク」が白糠学園で行われ、町内の小中学生７人が参加しました。

ＡＬＴはマリアさん、マリさん、ブランドンさん、王さんの４人。子どもたちは、ＡＬＴが考案したゲームやクッキングに英会話を交えながら挑戦しました。

マリアさんは、英語の質問に答えられたチームがＡＬＴにトイレットペーパーを巻いて、雪だるまにするゲームを考案。子どもたちは２チームに分かれて「英語の綴り」「好きな色や食べ物は」などといった質問に答え、楽しみながら英語を学びました。

クッキングでは、マリアさんの両親がメキシコ出身であることからタコス作りに挑戦しました。子どもたちは、ＡＬＴの指導の下、焼き加減に注意し肉を調理。最後に焼いた肉と玉ねぎ、パクチーを皮のトルティーヤに包み、アボカドソースをかけて食べました。

白糠学園５年生の野田心翔（まなと）さんは「ゲームで体を動かしながら楽しく英語を学ぶことができました。機会があればまた参加したい」と笑顔で話していました。

1月18日

一針一針丁寧に

間宮喜代子アイヌ刺しゅう教室

間宮喜代子さんの「アイヌ文様刺しゅう教室」がウレシパチセで開かれました。

参加者は好きな文様のデザインを選び、「オホ」と呼ばれる鎖状の輪を連ねていく刺しゅうで縫いました。

白糠町出身でニューヨーク在住のアザー直美さんは夫婦で参加。「刺しゅうは苦手ですが楽しい。無料で経験できるのはありがたいですね」と話していました。

「糸を引っ張りすぎないように」と話す間宮さん(中央)

1月14日

家内安全・無病息災を祈願

白糠老友会焼納祭

白糠老友会（神成比呂志会長）は、正月飾りなどを焼いて家内安全と無病息災を祈願する「焼納祭」を茶路川河口で行いました。今年で51回目。

この日は会員９人が集まり、白糠厳島神社の進藤卓嗣宮司による祭事を行った後、しめ縄などの正月飾りを燃やしました。神成会長は「会員にケガや事故がなく終えることができて良かった」と話していました。

しめ縄などの正月飾りを燃納し、無病息災などを祈りました